2027年度4月・9月入学
日本語基準合格者向け

1月以降合格者向け

APU Pre-enrollment Study Guide

APU 入学前スタディ・ガイド



目次

入学部長からのメッセージ.....1

【はじめに】
APU 生に求められる力とは.....2-5

【入学前の英語学習について】
英語入学前講座一覧.....6

【入学前教育教材 (英語学習課題)】 ※1月・2月合格者の方は可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。
英単語課題：NGSL (New General Service List)/ボキャブラリーノート作成.....7-12
多読課題：Xreading.....13-15
オンライン英語総合学習教材：Practical English 9.....16

【入学前教育教材 (数学学習課題)】 ※1月・2月合格者の方は可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。
数学課題：AI 教材 KOUDAI Bridge.....17-19

【入学者向け推薦教材（推薦図書・映画等）】
推薦教材一覧.....20-24

【入学後プログラム】
FIRST.....25-26

立命館アジア太平洋大学
入学部部長
山形　辰史

APU へようこそ。

この冊子を受け取った時点で，入学までに残された時間も，これまでの学習状況も様々かとは思います。そのような中で，各自が APU での"Global Learning"を最大限に活かす準備として，入学までの時間を有意義に使っていただくためにこのスタディガイドは用意されています。4 年間の学生生活は長いようであっという間です。できることは少しでも早くスタートを切っておきましょう。

まず，ぼんやりとでも具体的な目標をお持ちの皆さんは，ゴールから逆算して今すべきことをきちんと見定めて取り組み始めてください。例えば，交換留学やダブルディグリープログラムを考えているのであれば，英語試験のスコアは必須になります。自分の目標のためにはいつまでにどの程度のスコアが必要で，そのためには今何をしなければならないのかをきちんと考えて，日々の努力を積み重ねていきましょう。既に目標に向けてスタートを切っている皆さんはその調子で頑張っていただければと思います。

まだ具体的な目標は無いという方も，無為に時間を過ごすことなく高等学校での学習等を通じて力を蓄えておきましょう。高校までの学習は役に立たないと勘違いをしてしまっている方がいらっしゃるかも知れませんが，当然高校での学習は大学での学びの基礎になってきます。自分に足りない部分を見極めて，入学前の講座等を活用して基礎的な力を高めておいてください。

APU において英語が重要であることは御理解いただいているかとは思います。英語基準学生とのコミュニケーションもとりやすくなりますし，少しでもレベルの高い英語クラスからスタートできる方が，学生生活における選択肢が増える可能性が高いことは否めません。一方で，全ての基本は国語と数学であるとも考えています。本質的なこれらの力は思考力そのものと言って差し支えないもので，他のことを学ぶ上での基礎ともなるでしょう。AI に仕事を奪われるのではなく，AI を活用していくためにもより深く考える力が重要でしょう。一朝一夕に力を伸ばせる領域ではないかとは思いますが，時間があるうちから着実に取り組んでおきましょう。

大学で学ぶ専門分野の知識も重要ですが，社会に出てからも随時新しいことを学び続けていかなければなりません。その意味でも新しい何かが必要になったときに，どのように学べばよいのか学び方を学んでおく，学ぶ能力を高めておくことが，大学での学びの中でより重要になります。4 年間の学びをより有意義なものにするためにも，その先のためにも，学習習慣を確かなものにし，自分の学び方を確立することも見据えながら，入学までの時間を有効に使っていきましょう。

今より少しでも成長した皆さんとキャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

APU 生に求められる力とは



このページは、入学までに復習しておいて欲しい学習内容を具体的にまとめたものです。将来皆さんが世界で活躍するためにも、しっかりとした基礎学力と学習習慣を身につけましょう。こうした力が身についていてこそ、これからの APU での学びが最大限生かせるのです。

学習面

■英語

APU 生が目指すべき英語力とは

- 以下を英語でおこなうことができる。
  - ✧ 自身の考えや意見を口頭あるいは文章で明確に表現する。
  - ✧ 海外で仕事をしたり、旅行したりする過程で他文化への理解を深める。
  - ✧ 多国籍なグループの一員として、またはリーダーとして仕事をする。
  - ✧ 学問、または仕事上で、①交渉により問題解決を図ることができる ②批判的思考をもって他者の考えや意見を分析することができる。
- 自立した学習者として英語の知識や技能を生涯にわたって向上させることができる。

APU の英語教育

APU の英語教育は、継続的に英語力を伸長できるシステムとなっています。入学前に受けるプレイスメントテストの結果によって自分に合った英語レベルから始められるという利点があるものの、「英語初級」からの履修開始となると、必修の英語科目を修了するまでに少なくとも 2 年かかることになります。加えて、各級には 2 科目（A と B）があり、いずれか一方でも F 評価(不合格評価)となると、同じ級に留まりその不合格科目を再履修しなければなりません。

また、卒業するためには、上記の語学としての英語科目以外に、英語で開講される科目を20単位（10科目）以上修得することが必要※ともなっており、これから入学までの期間でいかに英語力を底上げできるかが、4年間の学生生活を決めると言っても過言ではありません。そこで、入学までに以下の点を各自で取り組むことをお勧めします。

※対象は日本語基準国内学生のみとなります。卒業のために必要な単位等の詳細は、入学後に各自で確認してください。

英語履修科目〔スタンダードトラック・24単位必修〕

科目名(単位数)		プレイスメントの目安 (IELTS)
英語初級A（4単位）	英語初級B（2単位）	4
英語準中級A（4単位）	英語準中級B（2単位）	4.5
英語中級A（4単位）	英語中級B（2単位）	5
英語準上級A（4単位）	英語準上級B（2単位）	5.5

英語履修科目〔アドバンストトラック・12 単位必修〕

科目名(単位数)		プレイスメントの目安（IELTS)
英語上級１A（4 単位）	英語上級１B（2 単位）	6.0
英語上級２A（4 単位）	英語 上級２B（2 単位）	6.5

入学前までに準備すること

(1) 入学前課題に取り組むこと

入学前課題の詳細は「入学前教育教材（英語学習課題）」「入学前教育教材（数学学習課題）」を参照すること

(2) できるようにしておくべきこと

- ✧ 動詞の時制、主語と述語の一致を中心に、高校までに学習した文法事項を総復習する
- ✧ 高校までの単語(基本の2000～3000語)の意味が分かり、つづりが書ける
- ✧ 30 分以内に自分の考えを 200 語程度のエッセイとして正確な文法で書ける
- ✧ ゆっくりとしたスピードの英会話ならほぼ聞き取れる

(3) 入学前課題のXreadingで簡単な英語本を毎日読み、英語の長文に慣れておく（1分間に100語程度読める）

■数学

アジア太平洋学部（APS）

データ分析や論理的な思考において、数学的知識は不可欠です。

以下二点は入学までに取り組んでほしい項目になります。

(1) 復習しておくべきこと

中学校までに学んだ内容(特に式の計算、ベン図、方程式、一次・二次関数、統計・確率)

数Ⅰ・数A(特に式の計算、方程式、不等式、場合の数と確率、論理と集合)

(2)基本的な計算は暗算で、素早く処理できるよう練習しておくこと

なお、入学前課題として提供している数学課題（KOUDAI Bridge）で指定した単元は、上記二点を踏まえ、まずおさえてほしい単元を選定しています。入学前までの数学知識の維持・向上に活用してください。

国際経営学部（APM）

APMでは、卒業までに数学・統計学を必ず履修し、単位を取得する必要があります。

入学前課題として提供する数学課題（KOUDAI Bridge）で指定している単元はそれらを踏まえたものになります。

また、多くの科目において数学の知識や考え方は必要不可欠なものになっています。

これまでの学習の到達点や数学への意識はそれぞれかとは思いますが、

入学までに自分に必要と思われることを見極めて学習目標を設定した上で、最後まできちんとやり遂げるようにしてください。

★復習しておくべきこと

- ☐ 文字(x, y ,z. ．．． a,b,c. ．．．)を含む式(整式)の和・差・積・商
- ☐ 平方根を含む数式の計算
- ☐ ２次式の因数分解
- ☐ ２次方程式、２次不等式
- ☐ グラフから関数を求める(１次関数、２次関数)
- ☐ ２次関数の微分(接線の傾き)
- ☐ 指数・対数の計算
- ☐ 級数

1. 数学に強い苦手意識がある方

四則演算などの基礎的な計算に不安がある方は、入学前課題として提供する数学課題（KOUDAI Bridge）に取り組む前に100ます計算や脳トレなどを用いたリハビリから始めてみるとよいかと思います。

基礎の基礎からトレーニングし直すことで苦手意識の克服につながるかも知れません。

2.数学に少し苦手意識がある方や数学をある程度は勉強したが十分ではないと感じている方
入学前課題として提供する「KOUDAI Bridge」で基礎固めをしておくことをお勧めします。
ただし、最初は簡単過ぎると感じても、手を抜かずに最後までやり抜くこと。

3.数学Ⅱ・Bの学習内容まで十分に理解できている方
入学前課題として提供する「KOUDAI Bridge」では数学Ⅱ・Bの単元も含んでいます。
まずはこれを活用し、復習・確認をしてください。
ただ、数学や統計学を自分の武器にしたいのでこの内容では物足りないという方は、
統計検定やプログラミング言語などに挑戦してみてはいかがでしょうか。

サステイナビリティ観光学部（ST）

データ分析や論理的な思考において数学的知識は不可欠です。
以下二点は入学までに取り組むとよい項目になります。
(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 小 ・ 中学で学んだ内容(特に式の計算、ベン図、方程式、一次・二次関数、統計・確率)
- ✧ 数Ⅰ・数A(特に式の計算、方程式、不等式、場合の数と確率、論理と集合)

(2)基本的な計算は暗算で、素早く処理できるよう練習しておくこと

なお、入学前課題として提供している数学課題（KOUDAI Bridge）で指定した単元は上記二点を踏まえて、まずおさえてほしい単元を選定しています。入学前までの数学知識の維持・向上に活用してください。

■国語

入学前に準備すべきこと

(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 常用漢字・高校までに学習した四字熟語・ことわざ・故事成語・慣用句などを復習、暗記する
- ✧ 文学史は近現代文学を中心に復習する

※上記2点は、大学生の常識としてあらゆる場面でその知識が求められます

(2) 読書習慣を身に付ける(様々なジャンルから、週一冊以上の本を読むことを目標とする)
(3) 新聞を毎日読むなど、長文の現代文を抵抗無く読み続ける力を養う

■社会

入学前に準備すべきこと

(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 高校で使用した世界史及び日本史の教科書を読み返しておく(年号などの詳細な情報を記憶する必要はないが、大きな世界と日本の流れを理解する)

生活面

■規則正しい生活習慣を身につける

- ✧ 入学準備のための学習時間を、高校の授業がある時期は最低2時間(テスト期間は除く)、冬休み及び春休み期間中は最低4時間確保する
- ✧ 早寝早起きの習慣を身に付ける(夜更かしは厳禁、7時までには起きる習慣をつけること)

■大学生活のスタートを前に大学で何がしたいのかを明確にする

- ✧ 大学のWebサイトなどから大学生活で出来ることを理解し、4年間の大学生活をプランニングする

英語学習課題一覧

STEP１：受講レベルの確認

現時点での英語習得度、または英語検定試験の獲得スコアによって、あなたに推奨される教材の開始レベルが違います。
まずはあなたの該当する受講レベルを下表で確認してください。

✧ プレエントランスデー参加者

プレエントランスデー参加者は、英語力診断テストを受験します。その英語力診断テストを受験した場合、以下を参考にしてください。（未受験の場合は下記の「プレエントランスデー不参加者」を参考にしてください）

受講レベル	英語力診断テスト（GSE※1）
A	～ GSE 33（CEFR A2）
B	GSE 34 ~ 39（CEFR A2+）
C	GSE 40 ~ 63（CEFR B1~B2）

※１GSE…Global Scale of English の略。ピアソン社が開発した英語力診断テストから英語能力を客観指標化したもの

✧ プレエントランスデー不参加者

下表の言語試験のスコアを参考にしてください。

受講レベル	英検（目安）	IELTS（目安）	TOEFL iBT®（目安）	GTEC For Students（目安）	CEFR（目安）
A	～準２級	~4.0	~37	～679	～A2
B	２級	4.5~5.0	48	680～959	A2+～B1
C	準１級～	5.5~	55~	960~	B1~

STEP２：入学前に取り組むべき課題の確認

受講料が必要な場合は各自の負担になります。

課題種別	課題	詳細情報記載ページ
必須課題	NGSL1.2（英単語課題）	7
	ボキャブラリーノート	12
	Xreading（英語多読課題）	13
	Practical English 9	16

※レベルによって一部課題の範囲や内容が異なります。詳細は各課題の詳細情報記載のページを確認してください。

NGSL (New General Service List)（英単語課題）

※1月・2月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。

APU では、英単語の学習に NGSL という英単語リストを使用しています。NGSL は初級レベルから上級レベルまで幅広い重要単語を網羅しており世界中で活用されています。アプリ(無料)を活用して学習できるので継続した学習習慣が身につきます。移動時間などを利用して必要な英単語をしっかりと身に付けましょう。

課題内容

■到達目標

受講レベルに応じて以下の範囲の英単語を覚える。

使用アプリ Quizlet

受講レベル	ターゲットの英単語 No. (リストの Rank)
レベル A	No. 801～1300
レベル B	No. 1301~1800
レベル C	No. 1801-2809

※実際取り組んでみて、難し過ぎる、簡単過ぎると感じた場合は、別のレベルに取り組んでも OK です。

■受講のポイント

- 毎日の隙間時間を利用して継続的に覚えましょう。
- アプリには様々な学習方法があります。自分の覚えやすい方法を見つけましょう。
- 入学後のスタートダッシュのためにターゲットの英単語は完全に覚えきりましょう。

■補足説明

NGSL1.2 について

NGSL リストとは、New General Service List の略で、英語圏で最頻出の単語をリスト化したもので、番号が小さいほど易しく・頻出度が高くなります。APU では学修レベルにあわせて 500 単語ずつ振り分けています。

初級(Elementary): 801-1300
準中級(Pre-Intermediate): 1301-1800
中級(Intermediate): 1801-2300
準上級(Upper-Intermediate): 2301-2809

リストの全体版はこちらにあります。しかし、リストだけでは覚えにくいので、アプリを活用しましょう。
(大学で管理するクラウド上にあります。右の QR コードでもアクセスできます。)
リスト全体：https://1drv.ms/x/s!Avzsqyk0KZc5iXa2qv1-ovBcTsQt?e=e4WSUB
※リスト全体は使用機器やソフトウェアの環境によっては閲覧ができない場合があります。
その場合はアプリのみ活用してください。

学習アプリ(Quizlet)について

無料で利用できる学習アプリで APU の学生も利用しています。皆さんが学習しやすいように、皆さん用のグループや学習コースを予め用意してあります。次のページ以降でアプリの登録方法、グループへの参加方法や学習コースの登録方法を説明します。

NGSL学習アプリ

受講レベルA →
NGSL 801-1300から開始

受講レベルB→
NGSL 1301-1800から開始

受講レベルC→
NGSL 1801-2809を中心に覚える

Vocabulary Learning with Quizlet
NGSLリスト 学習アプリ 使用方法

1. https://quizlet.com/join/3CGHDYxPD?i=26bjug&x=1bqt　にアクセス

Scan

QRコードからでも可



クリック

2. 無料アカウントを作成



グーグルアカウントを持っていればそれでログイン可能

有料アカウントを作る必要はありません！無料プランで作成しましょう。

誕生日

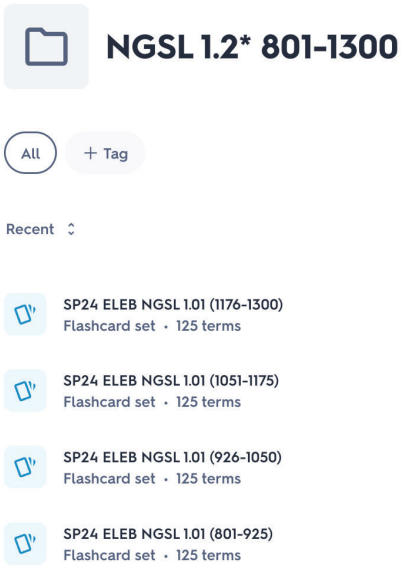
ユーザ名はアルファベットで姓_名の順で（例：BERGER_Maiko）
すでにユーザー名がある場合は例の様に変更してください。

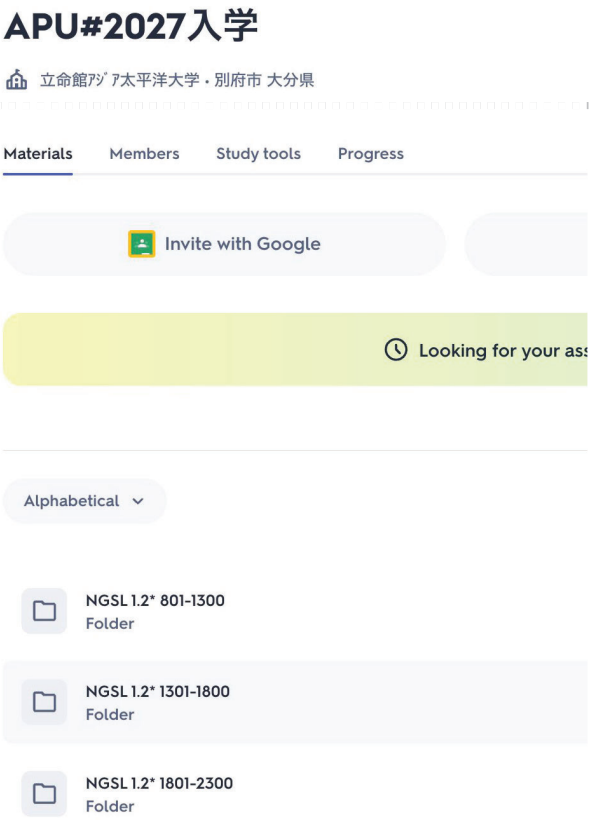
Eメールアドレス

パスワードを入力

3. 登録完了

学習フォルダーとセットを選択して練習を開始します。
１つのセットにつき、４種類の練習（次ページ参照）ができます。

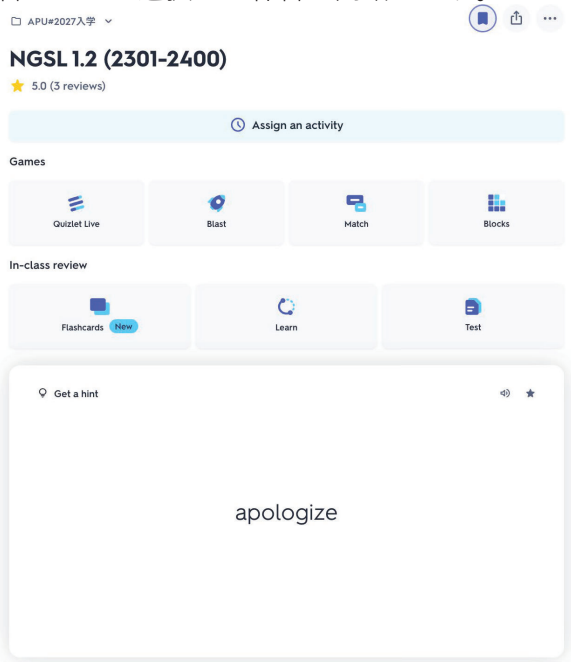




4. 学習開始

Quizlet

学習セットを選択して練習を開始します。１つのセットにつき、４種類の練習（次ページ参照）ができます。



NGSL番号	入学時レベル	参考
801-1300	初級 (ELE)	英検準２級以下
1301-1800	準中級 (PIE)	英検２級程度
1801-2300	中級 (IE)	英検２～準１級程度
2301-2809	準上級 (UIE)	準１級～

自分の現在のレベルに合ったリストを選びましょう。

5. 練習方法

フラッシュカード： 英単語の定義が英文で確認できます。

学習モード： 定義を見て４択もしくはタイピングにて英単語を答えます。動詞の活用や主語と一致させることができるか、例文に合わせてタイピングすることで単語力に合わせて文法力を鍛えます。

テストモード： 定義を見て単語を書いたり、単語と定義を合わせたり、定義から正しい単語を選んだり、定義を見て単語が正しいかどうか判断したりします。

マッチングゲーム： 単語と定義を合わせます。

6. 追加機能

自分で他の単語セットを検索して、セットに加え、無限に学習することができます。

是非自主学習に役立ててください。

ボキャブラリーノート作成（英単語課題）

※1月・2月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。

NGSL1.2 の学習で間違った単語をノートにまとめましょう。

課題内容

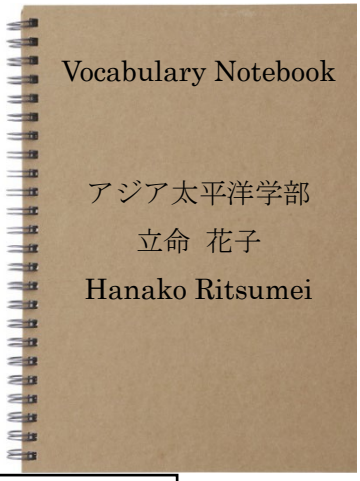
■到達目標

NGSL1.2 の学習で誤った単語を週 20～35 words ノートにまとめる。

注：本課題の提出は行いません。

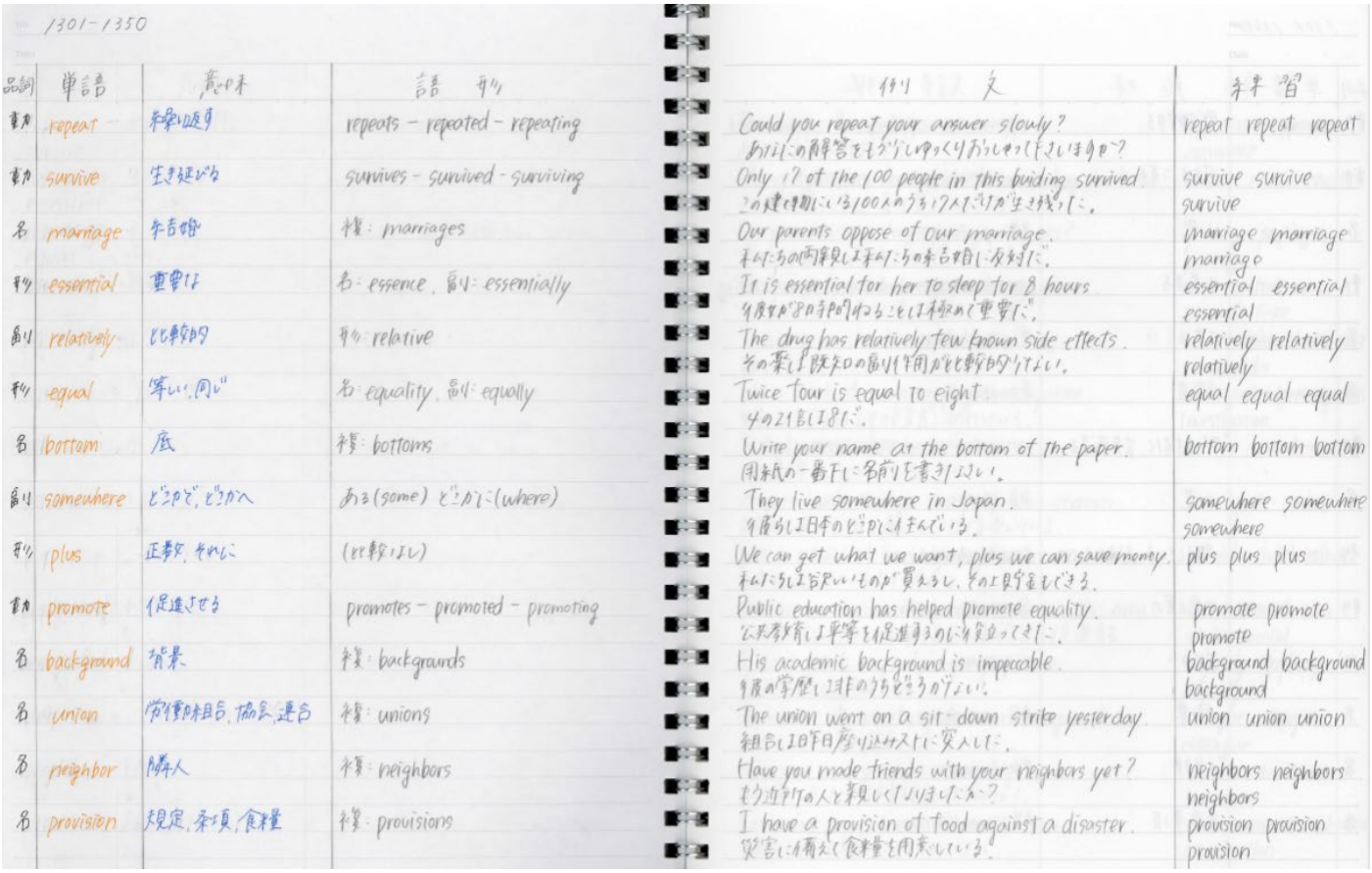
■受講のポイント

- ノートを各自準備してください。どんなノートでも大丈夫です。
- ノートはみなさんの好きなように作成していただけますが、
  以下の内容をノートに盛り込む参考にしてください。



単語、単語の品詞（名詞、動詞、形容詞など）、意味
単語の語形（eatの場合 eats, eating, ate）、 例文、 自分で作った単語を使った文、
綴りが難しいものは何度か練習をする

■作成例



Xreading（多読課題）

提供：Xreading

※1月・2月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。

様々な研究により、多読が英語の全技能を伸ばすのに有効であることが証明されています。多く読めば読むほど、より読解力がつき、語彙力も伸びます。また、英語で本を読むことで知識や感動を得ることもできます。さらに、各学部の専門科目を英語開講で履修する際には、毎回授業の予習で教科書の 1 章(10 ページ以上)を読むことが求められます。多読課題は大学での学修のよい準備学習となります。まずは 1 日 20 分、毎日読むことを習慣にしてみてください。

入学前課題への取り組みが、入学後の英語クラスの配置において、考慮されます。
特に、以下の基準を超えた方は、入学後の英語プレイスメント受験の結果を総合的に判断の上、英語クラスで準中級以上に配置される可能性があります。皆さんの積極的な課題への取り組みを期待しています。

■Xreading 10 万語
■Practical English9 100 レッスン

課題内容

■到達目標

毎日 20 分程度、週に 2000~5000 単語は読むよう習慣づけることを目標とする。開始時期によるが、入学までに 6 万語以上読むのが望ましい。

■受講のポイント

- 簡単で面白そうな本を探して読むこと。
- オーディオがある本は聞きながら読むことをおすすめします。
- 読めば読むほど、読解力がつき、語彙力も定着します。速く読みすぎないように注意してください。目安は 1 分間に 100 語程度です。

■申込みについて

申込み方法	下記「受講の流れ」を参照してください。
受講料	1,650 円（税込）
入金方法	クレジットカードまたは銀行振込・ゆうちょ銀行振込。 ※銀行振込、ゆうちょ振込を選択した場合、入金確認後の発送となります。
問合せ先	APU英語科目担当教員　ベルガー舞子　maiko@apu.ac.jp
備考	インターネットに接続されているパソコンやスマートフォン等が必要です。

■受講の流れ

1．アクセスコードを購入（インターネットより注文）

2．ンターネットでの注文にてアクセスコードを購入してください。料金は 1,650 円（税込）です。注文の際に、学校名（立命館アジア太平洋大学）、担当教員名（ベルガー舞子）をコメント欄に明記してください。アクセスコードは Englishbooks.jp 社より E メールで届きます。

https://www.englishbooks.jp/catalog/product_info.php/xreading-month-subscription-digital-access-code-for-students-9784865390698e-p-51369

2．クラス登録



Xreading 利用のために、以下のページ（上の QR コードと同一）にアクセスし質問フォームに回答してください。

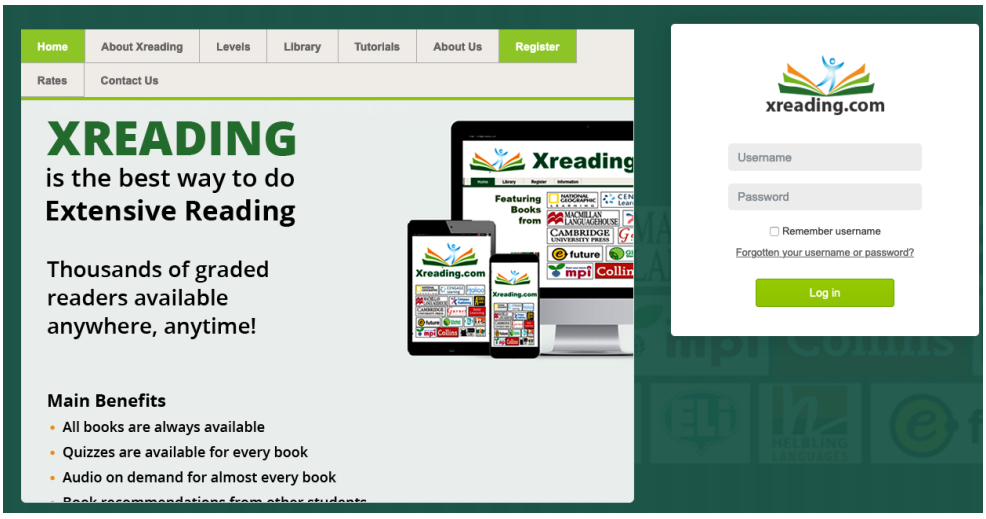
Microsoft Forms （Microsoft Forms へ移ります。)

登録フォーム提出後、数日中にクラス登録完了通知が届きます。メールが届かない場合は、提出したメールアドレスが間違っている可能性がありますので、再度回答してください。

3．Xreading へ登録

課題を開始するためには、こちらのページにアクセスしてください。

https://xreading.com/



① ログインする。ユーザーネームはクラス登録で入力した各自のメールアドレスを使用。

パスワードは、メールアドレスと同じです。ログイン後に各自で変更してください。

例：Username: maiko@apu.ac.jp

Password: maiko@apu.ac.jp

入学後、読書記録を引き継ぐために、教員がメールアドレスを書き換えます。4 月以降は、

Username には APU のメールアドレス(XXXX@apu.ac.jp)、パスワードはこれまでと同じものを入力してください。

② 「APU#2027 春クラス」に登録されていることを確認

③ My Page > Subscription の部分でアクセスコードを入力する

④ 準備完了、Xreading を利用可能になりました。

4. Xreading 利用開始

「Assignments」のタブをクリック → 「Add Book」をクリック → 読みたい本を探して「Select」をクリックすれば、読書を開始できます。

詳しくは以下のビデオ（右の QR コードと同一）をご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=2J44JMlsJlg

【入学前教育教材（英語学習課題)】

Practical English 9（オンライン英語総合学習教材）

提供：株式会社 EdulinX

※1月・2月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。ただし、GRAB Program 対象者は必須ではありまん。
※3月合格者の方は対象外となります。

APU 入学までの 2～3 ヶ月間の過ごし方によって、入学後の英語力の伸びは大きく変わってきます。入学までに基礎的な英語力を身につけるために、入学前に本オンライン教材を使って、総合的な英語力を効率よくバランスよく強化しましょう。Practical English 9 では、あなたの英語力に応じてレッスンをカスタマイズするプログラムを搭載しており、あなたの弱点の強化が図れます。

課題内容

■到達目標

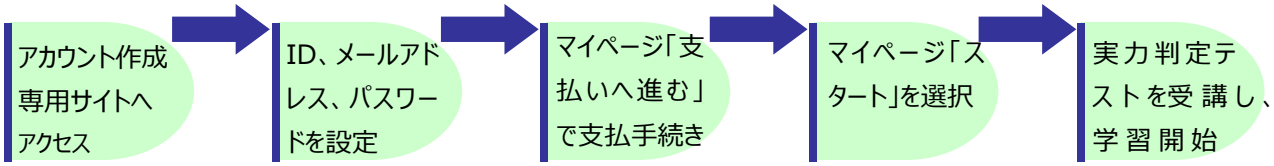
受講レベル A・B・C すべて 100 レッスン完了
※100 レッスンを修了すると、修了証がダウンロードできます。

難易度：入門－上級（TOEIC®L&R スコア 225-990 点相当）
レッスン内容：リスニング、リーディング、文法のレッスンを合計 420 レッスン収録
平均学習時間：30－45 分／レッスン（レッスンは基礎・演習・ミニテストの 3 セクションで構成されています）

■受講のポイント

- まず Practical English 9 の「実力判定テスト」を受講しましょう。テスト結果に基づいてあなたに最適なレッスンを提案します。
- 必要なレッスン数が決まっているので、計画的に毎日学習をしていきましょう。

■受講の流れ



■申込みについて

申込み方法	インターネットでのお申込みとなります。以下のURLよりアクセスして下さい。 URL：https://go.reallyenglish.jp/ja/apu-preuniversity
申込み期間	**2026年11月9日（月）～2027年3月12日（金）**
受講料	4,950 円（税込）※受講料は各自の負担になります。
入金方法	コンビニ決済またはクレジットカード　※支払期日：お申込後7日以内 **※EdulinXキャンセルポリシー：お申し込み後(支払い手続き完了後)のキャンセル・返金はいたしかねますので、予めご了承下さい。**
問合せ先	リアリーイングリッシュサポート　メールアドレス：support@reallyenglish.jp 対応時間：9:30～18:00（定休日：土日祝日、年末年始（12/27～1/4 予定））
備考	インターネットが接続されているパソコンもしくはタブレット端末・スマートフォンが必要です。 動作環境は予告なく変更となる可能性があります。最新の動作環境は以下からご確認ください。 ☞https://info.reallyenglish.jp/system_requirements

数学課題：AI 教材「KOUDAIBridge」

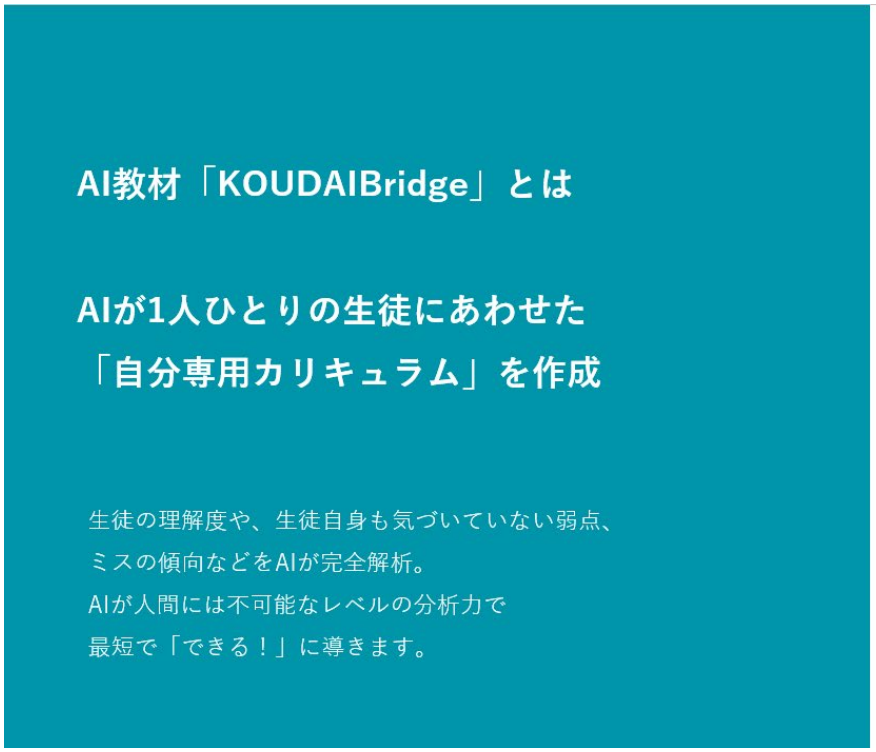
提供：atama plus 株式会社
https://corp.atama.plus/

※1月･2月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3月合格者の方は対象外となります。

入学前課題の 1 つとして数学を課しています。教材は AI 学習教材「KOUDAIBridge」(旧atama+)を使用します。

「KOUDAIBridge」とは、各学部が指定した学習単元について、AI が学習者の理解度を判定しながら苦手なところに絞って個別カリキュラムで学習できるシステムです。

皆さんの入学後の活躍に向けて、各学部が独自に単元を指定していますので、入学までの多忙な時期だとは思いますがぜひ積極的に学習に取り組んでください。





課題内容

■到達目標

学部が指定する学習単元を全て修了すること。（指定される単元は、入学後に所属する学部によって異なります）

■受講のポイント

学部によって、特に重視する数学の単元が異なります。いずれの学部でも、入学後の授業に必要な基礎学力の範囲を指定しておりますので、本冊子の「APU 生に求められる力とは」に記載の「■数学」の箇所を確認した上で数学課題に取り組んでください。

■申し込み方法･期限･費用等

申込方法	申し込みフォームよりお申込み（詳細は下記の「受講の流れ」をご確認ください）
申込期間	2026年11月4日（水）～2027年3月19日（金） ※計画的な学習のため早期のお申込みを推奨します。 ※申し込みフォーム送信後、申込内容の変更･ご返金ができないため、入力内容にお間違えがないか入力後に必ずチェックをお願いいたします。 ※申込期間以外のお申込みはできませんのでご注意ください。

	※申し込みフォームのメンテナンスにより一時的にお申込みができない可能性があります。その際は恐れ入りますが別の時間帯にお申込みをお願いします。
学習期間	「KOUDAIBridge」アカウント受領（2026 年 11 月 4 日（水）以降）～2027 年 3 月 31 日（水）23 時 59 分まで ※お支払い完了後、お申込者様へアカウント情報（ID、仮パスワード、ログイン URL、学習利用マニュアル等）をメールで送付します。 ※指定単元は予め設定されています。 ※お申込み・お支払いに不備がある場合は「KOUDAIBridge」アカウントを発行できませんのでご注意ください。
受講料	8,250 円（税込）
支払方法	クレジットカード、Apple Pay、Google Pay、コンビニ決済 ※支払者は入学予定者と同一でなくても問題ありません
備考	■インターネットに接続されているパソコン・タブレット・スマートフォンが必要です。 ■「KOUDAIBridge」のご利用は日本国内での利用を前提としております。海外でのご利用は国・地域の事情等により制約が生じたり、ご利用できない場合があります。 ■サポート環境は以下の通りです。（2026年7月1日時点）

パソコン	・Windows11 × Chrome 最新版 ・macOS 26,Sequoia(15) × Chrome 最新版 ・ChromeOS 最新版 × Chrome 最新版
タブレット	・iPadOS18,26 × Safari ・Android12～16 × Chrome 最新版
スマートフォン	・iOS18,26 × Safari ・Android12～16 × Chrome 最新版

■サポート環境の最新情報は以下URLよりご確認いただけます。

https://corp.atama.plus/wp-content/themes/atama_corp/image/exam_support_environment.pdf

■受講の流れ

1．お申込み･お支払い

① 下記のメール到達確認フォームにアクセスし、届いた申し込みフォームからお申込みください。

・下記 URL または QR コードからメール到達確認フォームにアクセスし、メール到達確認フォームに入力したメールアドレス宛に届く申込フォームに必要事項を入力のうえ送信してください。

◆メール到達確認フォーム URL：https://link.atama.plus/apu_w8hG4kF9xY/

※申し込みフォームには以下をご登録いただきますので、予めご確認ください。

●申し込みフォームの内容

・ご入学者の氏名、ふりがな、メールアドレス、学年、受験番号（数字 8 桁）、入学される学部名、入試形式

・ご入学者の UNITE Program 修了有無（有の場合は UNITE Program での KOUDAIBridge の ID）

② 送信後、ご入力のメールアドレスに届く「お支払い手続きのご案内」に沿ってお支払いください。

※支払者は入学予定者と同一でなくても問題ありません。

※お支払い方法はクレジットカード、Apple Pay、Google Pay、コンビニ決済になります。

2．申込時のご注意

・送信後は申込内容の変更・返金ができません。送信前に入力内容を必ずご確認ください。

・「@icloud.com」宛のメールは、セキュリティの都合で atama plus 株式会社からの ID・パスワード等が届かない場合があります。
別のアドレスのご利用をおすすめします。

・「@gmail.com」をご利用の際は、「@gmai.com」（「l」が抜けた文字）と誤って入力しないようご注意ください。

・[@atamaplus.co.jp]、[contact_adm@atama.plus]からメールを受信できるように受信ドメイン設定をお願いします。

3．学習開始

お支払い完了後、お申込者様のメールアドレス宛に「KOUDAIBridge」ご利用に必要なアカウント情報をお送りしますので、メールをご確認の上、学習を開始してください。

※メールが届かない場合は、「お問い合わせ先」のフォームよりご連絡ください。

※指定単元は予め設定されています。

※お申込み・お支払いに不備がある場合は「KOUDAIBridge」アカウントを発行できませんのでご注意ください。

■お問い合わせ先

◆お申込み・お支払い・KOUDAIBridge に関するお問い合わせ

atama plus お問い合わせフォーム

https://forms.gle/R1VJHKZsWeP3r7oo7

◆入学前教育の制度に関するお問い合わせは、大学へお願いいたします。

入学者向け推薦教材（推薦図書・映画等）

このページでは、それぞれの学部ごとの推薦教材や、入学後の学びにつながる図書や映画を紹介しています。
入学までの期間に、推薦教材に取り組み、読書や映画鑑賞を通して、知識や多様な考え方を蓄え、大学での学びに活かしましょう。

推薦教材一覧

■アジア太平洋学部（APS）入学者向け推薦図書・映画

図書：

アジア太平洋を考える入口・地域研究

- 白石隆『海の帝国――アジアをどう考えるか』（中公新書） ― 海から見たアジアという視座を与えてくれる.
- 岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書） ― 地域の歴史的背景を一通り押さえられる.
- 鶴見良行『バナナと日本人』（岩波新書） ― 身近な食卓からアジアとの関係を問い直す古典。経済・開発・環境すべてにまたがる.
- 平野健一郎編『地域研究とは何か』（東京大学出版会） 地域研究という学問分野の成り立ちや方法論を紹介. なぜ言語や文化、歴史の深い理解が必要なのかを学ぶことができる.
- 渡辺靖『アメリカとは何か 自画像と世界観をめぐる相剋』（岩波新書） 分断、人種、ナショナリズム、国際秩序などの論点から現代アメリカ社会を読み解く。超大国アメリカの自己認識と世界観を考察するのに最適.
- 『現代アフリカを知るための 62 章』（明石書店・エリアスタディーズ） バイアスなしに、政治、経済、宗教、開発、環境など多様なテーマから、アフリカの多様性を理解するための入門書.

社会学

- 見田宗介『社会学入門―人間と社会の未来』（岩波新書） ― 社会学の基本的な考え方を様々な事例に基づいて説明されており，社会学の面白さへと誘う.
- 見田宗介『現代社会の理論』（岩波新書） ― 情報化・消費化社会と、その外部に押し出される世界を論じる.
- マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（岩波文庫） ― 資本主義の成立構造の説明. 社会学の知のあり方の魅力性も確認できる.
- エミール・デュルケーム『自殺論』（中公文庫） ― 最も個人的に見える行為に社会の力を見出す、社会学的思考の原点. データで仮説を検証する方法論の手本としてもよい.
- アンソニー・ギデンズ『暴走する世界――グローバリゼーションは何をどう変えるのか』（ダイヤモンド社） ― 新入生でも通読しやすい. グローバル化という学部の中心テーマにも直結している

政治学

- 砂原庸介・稗田健志・多湖淳『政治学の第一歩』（有斐閣ストゥディア） ― 標準的な教科書的入門
- 宇野重規『民主主義とは何か』（講談社現代新書） ― 概念の歴史を平易に
- 丸山眞男『日本の思想』（岩波新書） ― 少し歯ごたえがあるが、一度は触れてほしい
- スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット他『民主主義の死に方』（新潮社） 民主主義は選挙を通じても崩壊しうることを、歴史的事例と現代政治の分析から示した現代政治学の代表的著作.

国際関係

- 中西寛『国際政治とは何か』（中公新書）安全保障・経済・価値観の三つの視点で国際政治を捉える入門書
- 細谷雄一『国際秩序』（中公新書）18 世紀から現代まで、国際秩序の変遷を歴史的に描く
- E・H・カー『危機の二十年』（岩波文庫）― 発展的な古典
- ジョン・ミアシャイマー『大国政治の悲劇』（五月書房新社）やや難解だが、国際政治において大国間競争がなぜ繰り返されるのかを、リアリズムの立場から説明した。

経済学・開発・環境

- ハンス・ロスリング他『FACTFULNESS』（日経 BP）― 世界を数字で見る習慣の入口として最適
- バナジー＆デュフロ『貧乏人の経済学』（みすず書房）― 開発経済学の現場感覚
- 末廣昭『新興アジア経済論』（岩波書店）― アジア経済を体系的に
- 伊藤亜聖『デジタル化する新興国』（中公新書）― 現在進行形のアジア
- 石牟礼道子『苦海浄土』（講談社文庫）― 水俣病を通じて、環境と近代化と人間の尊厳を問う
- 斎藤幸平『人新世の「資本論」』（集英社新書）― 議論を呼んだ本なので、批判的に読む練習にも

文化研究・ジェンダー・メディア

- ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』― 東南アジア研究から生まれたナショナリズム論の古典
- エドワード・サイード『オリエンタリズム』（平凡社ライブラリー）―「アジア」を語る視線そのものを問う
- 吉見俊哉『メディア文化論』（有斐閣アルマ）メディアが社会や感覚をどう形づくってきたかを歴史からたどる入門書
- 加藤秀一『はじめてのジェンダー論』（有斐閣ストゥディア）― 教科書として概念を基礎から整理した本で、考えるための道具を渡してくれます.
- クラウディア・ゴールディン『なぜ男女の賃金に格差があるのか――女性の生き方の経済学』（鹿田昌美訳、慶應義塾大学出版会）― 2023 年ノーベル経済学賞受賞者による、100 年分のデータにもとづく実証研究. 働き方や制度の構造から格差を説明するので、落ち着いて議論できる一冊.

洋書

- Steven Levitsky and Daniel Ziblatt, ***How Democracies Die*** ― ***An accessible introduction to democracy, democratic backsliding, and the role of political institutions*****.** (Crown)Politics. The book encourages readers to think critically about how democratic systems are sustained and how they can erode, even through elections. Also available in Japanese.
- Colin Woodard, ***American Nations: A History of the Eleven Rival Regional Cultures of North America*** (Penguin Books) Area studies. It presents the United States as a collection of distinct historical and cultural regions. Offers an alternative perspective on American society, politics, and identity. Also available in Japanese.
- Postman, Neil, ***Amusing Ourselves to Death: Public Discourse in the Age of Show Business.*** New York: Viking Penguin.
- Mayall, James, ***World Politics: Progress and Its Limits***. Cambridge: Polity Press.
- Collier, Paul, ***The Bottom Billion: Why the Poorest Countries Are Failing and What Can Be Done About It.*** Oxford: Oxford University Press.

映画：「椿三十郎」／黒澤 明（1962 年公開）
「ニュー・シネマ・パラダイス」/ジュゼッペ・トルナトーレ（1988 年公開）
「ペルセポリス」/マルジャン・サトラピ・ヴァンサン・パロノー（2007 年公開）

「ホテル・ルワンダ」/テリー・ジョージ（2004 年公開）
「セントラル・ステーション」/ヴァルテル・サレス（1998 年公開）
「裸足の季節」/デニズ・ガムゼ・エルギュヴェン（2015 年公開）
「テルアビブ・オン・ファイア」/サメフ・ゾアビ（2018 年公開）
「インビクタス　負けざる者たち」/クリント・イーストウッド（2009 年公開）
「在りし日の歌」/ワン・シャオシュアイ（2019 年公開）
「スラムドッグミリオネア」/ダニー・ボイル（2008 年公開）

■国際経営学部（APM）入学者向け推薦教材・映画

教材：Topics for APM Pre-Enrollment Assignment as part of Pre-Enrollment Education

〈留意事項〉
※以下の 3 問は提出する必要はありません。School of Management, APU でレポートを書く練習や論理的思考能力の向上につながるため、それぞれの「Question」に対して自分なりの答えを出すことをお勧めします。
※読解が難しい場合、AI や翻訳サイトを活用しても構いません。

Challenge 1
Read the following article and answer the question below.

Dawn of a new era for China's IP industry By Kimihiro Fukuyama | China Daily | 2025-02-28

https://www.chinadaily.com.cn/a/202502/28/WS67c0f5a2a310c240449d7b70.html

Question: Find one company and describe how this company has transitioned its business from the original business to IP business (350-500 words).

Challenge 2
Read the following article and answer the question below.

Asia-Pacific must chart its own course By Kimihiro Fukuyama | China Daily | 2025-04-11

https://www.chinadaily.com.cn/a/202504/11/WS67f855f0a3104d9fd381ea6e.html

Question: Please explain the advantages and disadvantages of raising tariffs (350-500 words).

Challenge 3
Read the following article and answer the questions below.

RCEP fostering development in Southeast Asia By Kimihiro Fukuyama | China Daily | Updated: 2024-07-24

https://www.chinadaily.com.cn/a/202407/24/WS66a02c18a31095c51c50f863.html

Question: Please elaborate the advantages and disadvantages of free trade agreements (350-500 words).

Challenge 4

East-Kyushu Shinkansen project.

OAB 大分新聞
https://youtu.be/hQSPLiVziR8?si=5nurIBe_6R8UqfcA

Report from Oita Prefectural
https://www.pref.oita.jp/soshiki/10530/higashikyuusyuusinnkannsen.html?utm_source=chatgpt.com

If students are interested in this topic, they can think about questions like

- Why has this project been pending for more than 50 years?
- If you were the CEO of JR Kyushu or the Major of Beppu City, would you decide to enter this project or not? Why?
- How much revenue or benefits would this project generate?
- How much money would it cost to build and run the new Shinkansen?
- Where to get such an amount of money?
- How to compare the costs and benefits in different years, e.g., construction expenses vs. operation income?

Machine translation

東九州新幹線を整備し、別府を新幹線でつなぐべきでしょうか？

- なぜ「東九州新幹線」の計画は、50 年以上にわたって実現していないのでしょうか？
- もしあなたが JR 九州の社長、または別府市長だったら、この事業に参加することを決めますか？それとも参加しませんか？なぜですか？
- この事業によって、どのくらいの収益や経済的なメリットが期待できるでしょうか？
- 新幹線の建設と運行には、どのくらいの費用がかかるでしょうか？
- それほど多額の資金を、どのように調達すればよいでしょうか？
- 建設費のような現在の費用と、将来得られる運行収入などの利益を、どのように比較すればよいでしょうか？

映画：

- **「頭文字 D THE MOVIE」/Andrew Lau、Alan Mak（2005 年公開）**「日本のいちばん長い日」/原田眞人（2015 年公開） example of the success of Japan creative industry and IP export.

その他映像コンテンツ：

- **New Balance collaborates with Prof. Lee's Consumer Behavior class of APU** - an example of students learning consumer behavior through collaboration with a real company. YouTube video
- **Real-World Marketing Project: APU × TATEYA. Glocally HOTEL Collaboration** - an example of students working on an actual marketing project with a company and applying what they learn in

class to a real business situation. YouTube video

- **What Should You Study in Japan? Marketing -** this video introduces what students can study in the field of marketing and what makes marketing an interesting subject to study in Japan. YouTube video
- **Choose the best Christmas Present for your Japanese friend/girlfriend using marketing techniques** - an example of how marketing concepts can be connected to familiar, everyday situations and learned in an enjoyable way. YouTube video

■サステイナビリティ観光学部（ST）入学者向け推薦図書・映画

図書：『SDGs―危機の時代の羅針盤（岩波新書 新赤版）』南博・稲場雅紀（著），岩波書店、2020 年
『エネルギーをめぐる旅―文明の歴史と私たちの未来』古舘恒介（著），英治出版, 2021 年
『観光的なものを組みなおす―文化・歴史・倫理の観光社会学』須藤廣・松本健太郎（編著），公人の友社, 2025 年
『地域創生の新しいデザイン―地域の潜在力を付加価値に』山﨑朗（編著），中央経済社, 2025 年
映画：『風をつかまえた少年』ドキュメンタリー映画（2019 年）
『The Last Tourist（ラスト・ツーリスト）』ドキュメンタリー映画（2021年）
『OUR PLANET 私たちの地球 II』ドキュメンタリー映画（2023年; Netflix）

FIRST プログラム



FIRST（Freshman Intercultural Relations Study Trip）は、クオーターブレイク休暇を利用して海外へ行き、初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れる短期集中プログラムです。調査活動の目的地は現地到着後くじ引きで決定され、多くの場合、観光では訪れないような小都市が指定されます。参加者は少人数のグループに分かれ、言葉の通じない土地で自分たちの力だけで目的地を目指し、現地の市民の方にアンケートやインタビュー調査を行います。プログラムを通じて異文化理解を深めると共に、コミュニケーション能力を身に付け、APU の国際色豊かなキャンパスライフを最大限に活用する力の獲得を目指します。

目的地は「くじ引き」で決まる！？

「FIRST」最大の特徴は、慣れない土地・文化・言語の中で、体当たりで調査活動を行うことです。学生たちは少人数のグループごとに事前授業で学んだ現地の言葉を駆使しながら、「くじ引き」で決まった目的地へ向かいます。到着後は、事前に設定した各グループの調査テーマに基づきアンケートやインタビュー調査を行います。帰国後、調査活動の結果をまとめてクラスで発表します。



こんな学生におすすめ

APU では授業でグループワークがたくさん行われます。FIRST は、コミュニケーション能力、グループで協働する力、異文化理解力、チャレンジ精神、問題解決力、プレゼンテーション能力など、APU で必要となるさまざまな力を伸ばすチャンスになります。「授業内外で異文化の学生ともっと交流したいけれども勇気が出ない」「交換留学やその他の海外学修プログラムに参加したいけれども自信がない」そういった学生にぜひ参加をおすすめします。



実施概要（春セメスター実施 国内学生向けプログラム）

申請期間	2027年4月上旬
申請資格	1～2セメスター生の国内学生および日本語基準国際学生 ※詳細は募集要項（2027年2月下旬～3月上旬公開予定）で確認してください。 ※募集要項はAPU Off-campus Programs Webサイトに掲載されます。
申請方法	APU Off-campus Programs Webサイトより、オンライン申請。 ※申請には志望理由（日本語600字程度）が求められます。 ※申請にはパスポートに記載されるローマ字氏名が必要です。 ※APU Off-campus Programs Webサイト（FIRSTページ） URL：https://www.apu.ac.jp/abroad/program/?category=&pgid=1
現地実習期間	2027年度春セメスター クオーターブレイク中の5日間 ※2027年度春セメスター クオーターブレイク期間は、2027年5月29日（土）～ 6月2日（水） ※現地実習期間の前後には事前授業（8回）および事後授業（４回）が実施されます。
派遣先	韓国を予定しています。
募集人数	120名程度
受講料	約100,000円（予定） ※プログラム費には主に実習費、渡航費、海外旅行保険料、安全対策のための通信費が含まれます。 ※現地での交通費、宿泊費、食費は、プログラム費に含まれません。 ※航空券価格や燃油サーチャージの変動により受講料が変更となる可能性があります。
備考	パスポートの取得手続きについて FIRSTに参加するためにはパスポートが必要です。参加を検討している新入生のうち、まだパスポートを所持していない方は、あらかじめパスポートの発行手続きを行いましょう。特にAPU入学に際し一人暮らしを始める方は、入学前までにパスポートを取得することをおすすめします。すでにパスポートを取得している場合であっても、渡航のために必要な十分な残存有効期間がない場合には、パスポートの更新手続きが必要です。

担当教員からのメッセージ

APU に入学したら多文化キャンパスからさらに一歩踏み出して自分を試してみる。それによって APU での学びを理解し、グローバルな視点を持つきっかけにする。この目的のために、これまで多くの学生たちが世界への一歩を踏み出してきました。FIRST の最大の特徴は「異文化オリエンテーリング」です。少人数のグループに分かれ、最小限の現地の言語、チームワークそして積極性をもって、指定された現地の町に自力で行き、そこで現地の方々の協力を得ながらアンケート調査やインタビューを行います。多くの方々との出会いを通じて、積極性と自信を身に付けます。FIRST は自分の殻を破り成長する機会になりえます。渡航する国の出身者を含む先輩学生も同行しますが、あくまでも主役は参加する学生、みなさんです。

「FIRST」をきっかけに学外での学びに興味を持ち、海外言語研修、教員が引率する各学部の専門分野に関する海外学修プログラム、さらには交換留学などの長期プログラムに参加する学生もたくさんいます。「FIRST」は APU で最初に体験する「世界へのとびら」です。



担当教員 立山 博邦
教育開発・学修支援センター 准教授

【問い合わせ先】

立命館アジア太平洋大学

アカデミック・オフィス　入学前教育担当

E-mail:apunmk@apu.ac.jp

※お問い合わせはメールにてお願いいたします

※教材に関するお問い合わせは各ページ掲載のお問い合わせ先にご連絡願います

アカデミック・オフィス　閉室期間（予定）：12/24～1/5

このAPU入学前スタディガイドに記載のTOEIC®、TOEFL® は Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。